

寄贈図書リスト

宇宙へのまなざし すばる望遠鏡天体画像集, 国立天文台編, A4 変形型, 132 頁, 2,940 円 (税込み), 丸善株式会社
 星空年鑑 2010 (DVD 付き), A4 判, 130 頁, 2,480 円

(税込み), 株式会社アストロアーツ
 大人の宇宙図鑑, デビット・ジェファリス著, 金子周介訳, 275×227 mm, 96 頁, 2,480 円 (税込み), 日経 BP 出版センター
 京の宇宙学, 松本 紘 編著, 188×144 mm, 146 頁, 2,993 円, ナノオプトメディア

月報だより

月報だよりの原稿は毎月 20 日締切, 翌月に発行の「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりますので, 締切日よりなるべく早めにお申し込み下さい。

e-mail で jimu@geppou.asj.or.jp 宛。

なお, 原稿も必ず Fax で 0422-31-5487 までお送り下さい。

人事公募

標準書式: なるべく, 以下の項目に従ってご投稿下さい。結果は必ずお知らせ下さい。

1. 募集人員 (ポスト・人数など), 2. (1) 所属部門・所属講座, (2) 勤務地, 3. 専門分野, 4. 職務内容・担当科目, 5. (1) 着任時期, (2) 任期, 6. 応募資格, 7. 提出書類, 8. 応募締切・受付期間, 9. (1) 提出先, (2) 問合せ先, 10. 応募上の注意, 11. その他 (待遇など)

国立天文台 ALMA 推進室研究教育職員

1. 助教 若干名
2. (1) 国立天文台 ALMA 推進室
(2) 国立天文台 ALMA 推進室チリ事務所 (チリ, サンチャゴ) を主な勤務地とする。チリ国内の ALMA 山麓施設 (標高 2,900 m) での出張勤務が多くあり, また, 時々 ALMA 山頂施設 (標高 5,000 m) での勤務もある。
3. 観測天文学 (ALMA プロジェクトの推進)
4. 国立天文台では, 日米欧 3 極による国際プロジェクトである ALMA の建設を進めています。今回の公募で採用する方は, 南米チリの国立天文台 ALMA 推進室チリ事務所 (サンチャゴ) を主な勤務地とし, ALMA 山麓施設での当直天文学者 (Astronomer on Duty) のための定期的な出張を行うこととなります。仕事内容としては, ALMA 観測所の科学運用グループのメンバーとして以下のことなどを行います。
 - 観測のスケジュールリングと実行
 - ALMA の較正観測の実行と開発

- 観測データの品質保証
- 観測プログラムの進捗管理
- アンテナ配列移動のサポート
- 運用のための文書とウェブページの準備
- 観測提案書の技術審査

また, ALMA の初期科学運用が始まる前には, 組上げ調整試験チームや, サイエンス・コミッショニングチームをサポートします。また, 制御ソフトウェアや科学運用のためのソフトウェア・ツールのテストと評価, および科学運用のプランニングに参加します。天文学の研究の推進, 特に ALMA を用いた研究の推進を強く期待します。本職務は初期科学運用においていち早く成果に結び付けられる環境にいることから, ALMA における初期および本格運用に向けたサイエンスプロジェクトを立案・推進し, 国際的に競争力のあるサイエンスを展開することを特に期待します。

5. (1) 決定後なるべく早い時期
(2) 5 年, 再任なし。
6. 博士の学位 (外国において授与されたこれに相当する学位を含む。) を有する者。ミリ波またはサブミリ波での十分な研究経験があること。電波干渉計または単一鏡型電波望遠鏡, それに関連する装置の運用の経験があれば望ましいです。高い英語のコミュニケーション能力が必要であり, かつ, オペレータ, 天文学者, システム・エンジニア, ソフトウェア技術者からなるチームのなかで十分仕事ができる能力が必要です。高地での勤務が必須な職であることから, 選考過程において高地順応医学検査を受けていただきます。
7. すべて英語にて記載して下さい。
 - (1) 履歴書 (Curriculum Vitae)

- (2) 研究歴 (Research Experience)
 - (3) 研究論文リスト (査読論文とその他を区別して下さい)
(list of publications, separate refereed and non-refereed papers)
 - (4) 研究計画書 (research interest)
 - (5) 本人について意見を述べられる方2名の氏名と連絡先
(names and contact details of two references)
8. 2010年2月26日(金) 必着
9. (1) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台台長 観山正見
- (2) 問合せ先: 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台 ALMA 推進室長 立松健一
Tel: 0422-34-3815
e-mail: k.tatematsu@nao.ac.jp
10. 封筒の表に「ALMA 人事応募書類」と朱記し、郵送の場合は簡易書留で送付して下さい。選考は国立天文台運営会議で行います。

国立天文台 ALMA 推進室特任助教(専門研究職員)

- 1. 特任助教(東アジア地域センターサポート・アストロノマー)2名
 - 2. (1) 国立天文台 ALMA 推進室
(2) 国立天文台 ALMA 推進室 ALMA 東アジア地域センター
 - 3. 観測天文学(ALMA プロジェクトの推進)
 - 4. 国立天文台では、日米欧3極による国際プロジェクトであるALMAの建設を進めています。ALMAでは、2010年度内の初期科学運用開始を目指し、2010年初めから山頂での観測システムの科学評価活動が開始され、今まさにALMAを使った観測活動が本格化する段階に入りました。そこで、東アジアのALMA地域センター(EA-ARC)では、ALMAによるサイエンスを強力に推進する体制を整備する必要があります。今回募集する特任助教は、EA-ARCのサポート・アストロノマーとして、ALMAを用いた科学成果を生み出すために初期及び本格運用に向けたサイエンスプロジェクトを立案・推進し、国際的に競争力のあるサイエンスを展開しつつ、以下の業務を担当するものです。
 - ・国内外におけるALMAサイエンスのプロモーション活動を行う(研究会、ユーザーズミーティング等)。
 - 5. ALMAの共同利用運用のためのユーザー支援業務を行う。
 - 6. 出張ベース(3カ月程度の出張を年1回、または、1カ月程度の出張を年間2-3回)で、チリ現地における試験運用(CSV: Commissioning, Science & Verification)を推進する。勤務時間の75%を、以上の業務に携わっていたいたうえで、残りの25%は、以下のALMA関連の研究業務に割り当て、しっかりと競争力のある研究業績を上げていただきます。
 - 7. ALMA初期科学運用においていち早く観測成果を出す。
 - 8. ALMAにおける新しい研究フィールドを開拓する。
5. (1) 2010年4月1日
(2) 2010年度末(2011年3月末日)まで。年度末毎に雇用更新可、最長2015年3月末日まで。
6. 上記業務に必要な、以下の知識と経験を有すること。
- ・天文学の基本的な知識(大学修士卒以上のレベル)を有すること。
 - ・電波観測装置を用いた観測的研究の推進に意欲的に取り組めること。
 - ・米欧の外国人との共同作業ができる程度の英語力を有すること。
 - ・EA-ARCおよび他のARCスタッフと協力・協調して、科学評価活動およびユーザー支援業務に意欲的に取り組めること。
7. 提出書類: (1) 履歴書, (2) 関連するこれまでの研修業績および研究論文リスト, (3) 主要論文の別刷3編, (4) 抱負を含む研究計画書, (5) 本人について意見を述べられる方の氏名と連絡先(複数)。
8. 2010年1月29日(金) 必着
9. (1) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台 ALMA 推進室長 立松健一
- (2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台 ALMA 推進室 奥村幸子
Tel: 0422-34-3782
e-mail: sokumura@nro.nao.ac.jp
10. 封筒の表に「ALMA 特任助教 (ARC サポート・アストロノマー) 人事応募書類」と明記して送付して下さい。国立天文台運営会議の審査により決定します。選考にあたっては面接を行う場合があります。なお、処遇、勤務形態は特定契約職員(大学共同利用機関法人自然科学研究機構特定契約職

員就業規則による)と同じであり、勤務時間は原形労働制、着任旅費は支給されない等、助教とは差異があることにご注意ください。

研究助成

(財)天文学振興財団 平成 22 年度研究助成等公募

当財団では、国立天文台の事業支援等を通じて天文学の振興を図っております。

平成 22 年 1 月 15 日
(財)天文学振興財団
理事長 海部宣男

1. 公募種目

(1) 研究助成

- a. 対象：天文学に関する優れた研究活動を行うおととする個人または団体の代表者、原則として 35 歳以下
- b. 助成：1 件 100 万円以下、平成 21 年度は 0 件

(2) 国際交流に対する助成

- a. 対象：天文学に関する海外での国際交流活動（1 カ月以内）に平成 22 年 4 月以降参加する研究者
- b. 助成：派遣に要する往復航空運賃および滞在費の一部、平成 20 年度の助成件数は 2 件（平均約 34 万円）

(3) 国際研究会参加に対する助成

- a. 対象：平成 22 年 4 月以降に海外で開催される天文学に関する国際研究会（10 日以内）に参加、発表する研究者
- b. 助成：派遣に要する往復航空運賃、平成 20 年度の助成件数は 11 件（平均約 19 万円）

(4) 国際研究会開催に対する助成

- a. 対象：平成 22 年 7 月以降に国内で天文学に関する国際研究会を開催する研究者グループ。
- b. 助成：1 件 100 万円以下、平成 20 年度の助成件数は 1 件（平均約 70 万円）

2. 申込期限：(1) は平成 22 年 2 月末日
(2)(3) は毎年 5 月末日、9 月末日、翌年 1 月末日の計 3 回
(4) は第 1 回が 5 月末日（対象期間が 22 年 7 月以降の開催）
第 2 回が 9 月末日（対象期間が 22 年

11 月以降の開催）

第 3 回が 23 年 1 月末日（対象期間が 23 年 3 月以降～6 月末日までの開催）

3. 選考結果：選考委員会で審査のうえ、採択の可否については、各申込期限の約 1 カ月後に文書で通知します。
4. 報告：研究助成は、年度末、それ以外の助成は、帰国後または開催後 1 カ月以内に報告書を提出して頂きます。
5. 申請：申請書は事務室あてに請求して下さい。
6. 問合せ先：(財)天文学振興財団 事務室

〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台内
Tel: 0422-34-8801
Fax: 0422-34-4053

公益信託林女性自然科学者研究助成基金 助成公募（平成 22 年度）

下記の助成を行うことになりました。希望者は申請書を受託者にお送り下さい。

対象：わが国の大学、国公立又は非営利事業財団等の研究機関において、自然科学（化学及びそれに関連ある物理学・生物学）の基礎研究に従事する女性研究者（国籍を問わない）。

助成内容：(1) 研究助成：15 件程度、総額約 2 千万円。
(2) 林フェロー：博士号を目指す研究者（1 百万円）5 名程度、2 年間助成。
(3) 国際研究交流助成（国際研究会での研究発表、海外での共同研究のための渡航）年 12 件程度、総額 2 百万円。

申込締切日：2010 年 3 月 31 日（水）

(3) は受託者に問い合わせのこと。

申請書：中央三井信託銀行のホームページからダウンロードして下さい。

http://www.chuomitsui.co.jp/koueki/k_topm.html

申込・問合せ先：〒105-8574 東京都港区芝 3-33-1
中央三井信託銀行本店法人営業部
公益信託課林基金担当
Tel: 03-5232-8911
Fax: 03-5232-8919
e-mail: Masami_Saito@chuomitsui.jp

公益信託山村富美記念女性自然科学者 研究助成基金 助成公募 (平成 22 年度)

下記の助成を行うことになりました。希望者は申請書を受託者にお送り下さい。

対象：わが国の大学、国公立又は非営利事業財団等の研究機関において、自然科学（化学及びそれに関連する物理学・生物学）の基礎研究に従事する女性研究者（国籍を問わない）。

助成の種類：山村フェロー：博士号を取得している女性
研究員（2百万円）2名程度、2年間助成。

申込締切日：2010年3月31日（水）

申請書：中央三井信託銀行のホームページからダウンロードしてください。

http://www.chuomitsui.co.jp/koueki/k_topm.html

申込・問合せ先：〒105-8574 東京都港区芝 3-33-1
中央三井信託銀行本店法人営業部
公益信託課山村基金担当
Tel: 03-5232-8911
Fax: 03-5232-8919
e-mail: Masami_Saito@chuomitsui.jp

共同利用・共同研究

SPICA 焦点面観測装置募集

次世代赤外線天文衛星 SPICA (Space Infrared Telescope for Cosmology and Astrophysics) に搭載する焦点面観測装置 (Focal Plane Instruments) のうち、日本

が主体となって担当する観測装置の提案を募集します。詳しくは、下記の募集要項をご覧ください。

この募集を通して、光赤天連・日本天文学会等国内の広いコミュニティからの観測装置開発グループへの積極的参加、或いは技術的協力等、さらに強い SPICA 計画へのご支援をいただければ幸いです。

SPICA プリプロジェクト長 中川貴雄
光赤天連 SPICA タスクフォース委員長 市川 隆

1. 募集要項

http://www.ioa.s.u-tokyo.ac.jp/gopira/stf/Announcement_SPICA_FPI.pdf

2. 提案書の締め切り

2010年4月30日（金）

3. 提案書の提出先

光赤天連 SPICA タスクフォース委員長 市川 隆
東北大学理学研究科天文学専攻

その他

2009 年ご寄付者名

2009 年に日本天文学会へご寄付をいただいた方々です。ありがとうございます。深く感謝申し上げます。（敬称略/受付順）

山本哲生, 和田浩二, 小林 浩, 木村 宏,
田中今日子, 田中秀和, 芝井 広, 深川美里,
松本誠樹, 倉本 圭, 阿部 豊, はしもとじょーじ,
林 祥介, 関根康人, 佐藤光輝, 佐藤修二, 佐藤明達,
村上 浩, 竹田洋一, 洞口俊博, 嶺重 慎, 成相恭二,
常深 博, 杵鞭充千男

天文月報オンライン/投稿用アップローダーの ID とパスワード

ID: asj 2005

パスワード：雑誌コード **vol98** の計 10 文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○—▲」の○○○○○の部分です。

児玉忠恭(編集長), 浅井 歩, 柏川伸成, 衣笠健三, 鈴木 建, 徂徠和夫, 竹井 洋, 野田寛大, 浜名 崇, 三好 真, 山崎 了, 吉田直紀

平成 22 年 1 月 20 日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会

印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 3-8-8 株式会社 国際文献印刷社

定価700円(本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359 (事務所)/0422-31-5488 (月報) Fax: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

©社団法人日本天文学会 2010 年 (本誌掲載記事は無断転載を禁じます)